

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.

14203

| | | | | | | |
|---------------------------|---|---------|---------|---------------|----|--|
| 1. 開設大学 | 広島工業大学 環境学部 | | 開催方法 | ■対面（本学） | | |
| | | | | □オンライン（同時・録画） | | |
| 2. 科目名 | 地球環境のふしぎ | | | | | |
| | 学問分野 | 番号 | 43 | 名称 | 環境 | |
| 3. 担当教員 | 小黒 剛成、田中 健路、岡 浩平（環境学部 地球環境学科） | | | | | |
| 4. 開講期間（曜日） 開講時間 | 令和3年8月5日（木） 10時40分 ～ 16時10分 （90分×3回） | | | | | |
| 個別開講日 | 1回目 8/5 | 2回目 8/5 | 3回目 8/5 | | | |
| | | | | | | |
| 5. 募集定員 | 40人 | | | | | |
| 6. 科目内容・ 授業計画 | <p><講座内容> 本講座では、「地球環境のふしぎ」をメインテーマとして、様々な地球環境問題を取り上げます。今回は、海や沿岸域を対象として「地球科学」、「環境共生」、「環境情報」のそれぞれの専門分野から体験学習を含め学びます。 地球科学分野では、主に台風の接近時に発生する高潮や地震などにより発生する津波に関して、発生メカニズムや早期警戒システムについて学びます。 環境共生分野では、海岸林や砂丘などの豊かな海岸生態系が津波や高潮の被害を軽減させる働きについて学びます。 環境情報分野では、衛星による海水温やクロロフィルなどの海洋環境情報の観測方法と観測事例について学びます。</p> <p><講座計画> 第1回：地球科学分野「沿岸を襲う高潮と津波」 第2回：環境共生分野「海岸生態系の防災・減災の働き」 第3回：環境情報分野「衛星による海洋環境情報の観測」</p> | | | | | |
| | | | | | | |
| 7. 受講料 | 無料 | | | | | |
| 8. 別途負担費用 | （テキスト代・実習料等） なし | | | | | |
| 9. 開講条件※1 ある <u>ない</u> | ① 最少開講人数（ 人）定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 （7月9日（金）以前の開講科目は3月末まで／7月10日（土）以降の開講科目は6月末まで） | | | | | |
| 10. その他特記事項 | 受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと オンライン（同時・録画・資料提示）の使用ソフトなど 筆記用具を持参 | | | | | |
| 11. 開設大学への 交通手段 | http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。 | | | | | |

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン（同時・録画）へ変更になる場合があります。